

## J A 広島総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	DPP-4阻害薬を使用している2型糖尿病患者にSGLT1阻害作用の異なるSGLT2阻害薬を追加した場合の血糖値改善効果作用に関する比較研究
倫理委員会承認番号	No. 19-28
研究の対象	外来通院中で血糖値改善のため、SGLT2阻害薬(イプラグリフロジン、ダパグリフロジン、カナグリフロジン)を外来にて開始し、半年以上継続することができた2型糖尿病患者のうち、DPP-4阻害薬(リナグリプチン、シタグリプチン、ビルダグリプチン)をSGLT2阻害薬開始前に投与されていた方(約200名を想定しています)
研究目的・方法	本研究の主な目的は、血糖降下薬である経口薬のDPP-4阻害薬を内服されている患者でSGLT1阻害作用の異なるSGLT2阻害薬を追加した場合に血糖値改善作用に違いがあるかを検討することです。DPP-4阻害薬はインクレチン関連薬と呼ばれる治療薬で、DPP-4の阻害作用によってGIP、GLP-1の作用を増強し、効果を発現します。一方でSGLT1は主に腸管に分布し、腸管での糖吸収を抑制し、GIPやGLP-1分泌を増強することが動物実験で報告されています。今回は、特別な制約を行っていない実臨床のデータから、SGLT1阻害作用の異なるSGLT2阻害薬をDPP-4阻害薬と併用した場合の相乗効果の差を比較します。用いるデータは、年齢、性、糖尿病罹病期間、および皆様が年1回受けておられる糖尿病合併症検査のうち、血液検査項目であるHbA1cです。
研究に用いる試料・情報の種類	普段の診療で採取した血液検査および生理検査の結果(保険診療を逸脱した検査項目は一切ありません)
外部への試料・情報の提供	一切ありません。
個人情報の取り扱い	使用した情報から氏名・IDなど直接個人を特定できる情報は削除いたします。また、研究成果は学会等での発表を予定していますが、その際も集団での統計解析の公表のみであり、対象者を特定できる個人情報の提示は一切ありません。
利益相反の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ( )
お問い合わせ先	廿日市市地御前1丁目3番3号 J A 広島総合病院 糖尿病代謝内科 研究責任者： 山本 祐太郎 TEL : 0829-36-3111 / FAX : 0829-36-5573
備考	